

三春町民生児童委員協議会

(平成 26 年 9 月 19 日掲載)

(1) 地域の状況

三春町は、福島県のほぼ中央部、郡山市から東へ 9km、阿武隈山地の西すそに位置しています。総面積は 72.76 km²。国の天然記念物である樹齢推定 1000 年のベニシダレザクラである三春滝桜で知られている町です。総人口は 17,293 人、世帯数は 5,558 世帯です（平成 26 年 7 月 1 日現在）。

(2) 三春町の被災状況

東日本大震災では、三春町は震度 5 強の地震に襲われました。地震による被害としては、人的被害（死者 1 名・負傷者 2 名）、住宅被害（全壊 30 棟・半壊 174 棟・一部破損 1,182 棟）、道路等被害（道路 239 か所・公園 14 か所・公営住宅 163 戸・農業施設 40 か所）、ライフライン被害（上水道 5 か所）でした。幸いにも下水道の被害や停電はありませんでした。

震災当日、町では災害対策本部を設置し、情報収集に努めるとともにひとり暮らし高齢者等の世帯の安否確認、断水地域での復旧・給水活動を行ないました。また、4 か所の町の施設等で避難所を開設し、町民避難者 144 名を受け入れました。さらに、町内 7 地区の自主防災会が中心となり各地区災害対策本部を設置、地区内の被害状況の把握、被災者支援が行なわれましたが、3 日後には避難者全員が帰宅したことにより、閉鎖しました。

そして、原発事故による避難に直面し、避難しなければならない相双地区の方がたの受け入れ支援が始まりました。

(3) 民生委員・児童委員の構成

民生委員・児童委員 54 名（うち主任児童委員 3 名）

(4) 震災直後から民生委員の活動

震災直後は、物流のストップ（食品・ガソリン等）があり、担当区域の要支援者への安否確認を徒歩で 1 軒 1 軒実施しました。また、地区の自主防災会との連携のもと、支援物資の配布なども行ない、異常があれば町・社協（事務局）に連絡をするなどの対応をしました。

あわせて原発事故により担当区域での借り上げ住宅に避難された方がたに対しても、町での福祉サービス等の情報提供や安否確認を行ない、各機関と連携を図りました。

(5) 民児協での活動

当民児協では、3つの福祉部会（高齢・児童・地域）を設置しており、地域福祉部会では、平成25年度には宮城県岩沼市（社協）を訪問し、震災直後の状況や当時の支援活動についてお話を伺うことができました。また県内から岩沼市に避難されている方がたと交流ができ「県内の方がたに来ていただき嬉しかった」とお礼の言葉をいただき有意義な研修ができました。

本年度は、千葉県大多喜町の民生委員・児童委員の方がたが来町し、震災時の委員の支援活動状況について情報交換会を行ないました。

(6) 終わりに

当時を忘れることなく、現在も避難されている方がたに対して支援活動を行ない、力になっていけるよう今後も努めていきたいと思えます。

大多喜町の民生委員・児童委員との情報交換会の様子

